

学びのふりかえり ～ 全国学力・学習状況調査の結果報告 ～

学期末を迎え、連絡票を配付します。各教科の学習状況は、各教科担任からのメッセージでもあります。進学先の選考資料の一部になる評価・評定ですが、本来は、これまでの取組に自信をもったり、今後の取組を改善したりするためのものです。どのように取り組めばいいかわからない場合には、いつでも各教科担任に相談してほしいと思います。

また、4月に横浜市学力・学習状況調査（全学年）を実施しました。調査結果が出ましたら、一人ひとりに個人票をお渡しする予定です。3年生には、同じく4月に実施した全国学力・学習状況調査の調査結果がまとまり、個人票を配付しました。学校の連絡票だけでなく、こちらも今後の学習に活用してほしいと思います。

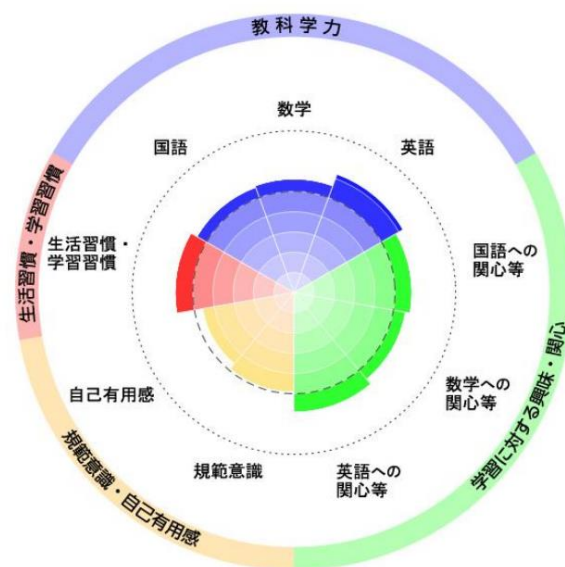
7月には、本校の授業評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。アンケートの結果を踏まえ、校内で研修会を実施しました。市と全国の学力・学習状況調査の結果についても分析し、授業力の向上につなげていきます。

令和5年度全国学力・学習状況調査 全国学力・学習状況調査結果チャート 横浜市立岩崎中学校

3年生が取り組んだ全国学力・学習状況調査（国・数・英）の結果を分析してみると、それぞれの教科に対する関心等は、全国の平均と比べても高い方で、それと呼応するように学力調査の結果も高い数値を示しています。生活習慣や学習習慣に関する数値を見れば、関連性の高さがうかがえます。

一方で自己有用感や規範意識について、何らかの傾向が見られます。

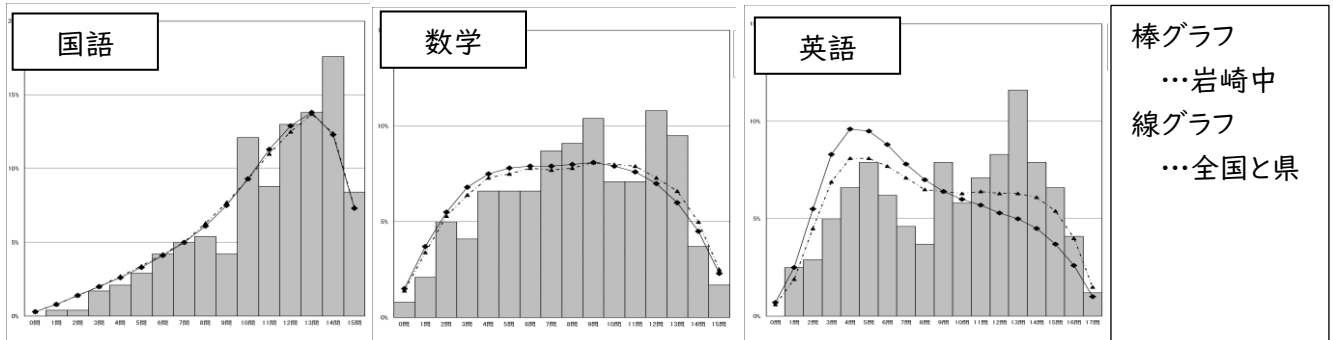
[児童生徒]
生徒質問紙(全国基準)



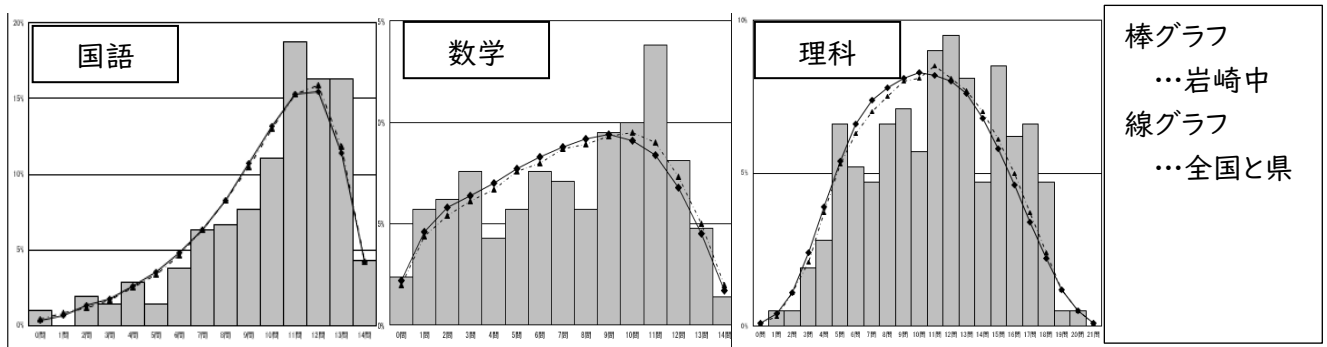
(1) 学力や学習に対する興味・関心について

これらのグラフは、得点ごとの人数分布を表しており、棒グラフである本校は、全国や県の傾向と、ある程度共通していると言えます。

【令和5年度】



【令和4年度】



また、調査結果データを詳しく見てみると、国語や数学、英語ともに、多くの問題で全国平均の正答率を上回っています。しかし、次のような問題で課題が見られます。

◇国語(問4-3)

『文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる』

◇数学(問9-1)

『基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質を基にしてそれらを確認説明する』

特に数学では、正しく証明しようとはしているものの根拠が不十分であったりする回答が全国に比べ多く見られました。これらは【思考・判断・表現】の観点で出題された問題であり、日頃の学習の成果が発揮されてはいるものの、引き続き力を入れて取り組む必要があります。

◇実際の問題はこちら

<https://www.nier.go.jp/23chousa/23chousa.htm>

それぞれの問題は、国が目指す『生徒たちに身につけてほしい資質・能力』の一端を示していると言えます。生徒が苦手な問題を見てみると、次のような力が求められているのではないのでしょうか。

- ◇情報を理解し、要点を捉える。
- ◇その情報を、状況や条件に応じて整理し、考察する。
- ◇根拠や理由を明確にしながら、学習した内容を使って表現する。

暗記したものを答えるのとは違い、苦手な生徒ほどより難解に感じてしまう問題だと思えます。7月に本校で実施した授業評価アンケートでも、「授業が難しい」「先生の説明が難しい」とのコメントが見られましたが、『ただ覚える』学習ではなく、『自分でしっかり考え、表現する』学習に取り組んでいる証拠かもしれません。

一方で、【知識・技能】の観点で出題された問題の中で、正答率が全国平均を下回るものもありました。

- ◇国語 …漢字を正しく書く問題 「おし量って考える」
- ◇数学 …表を読み取って「累積度数」を求める問題

この調査が「知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力」を測るために実施しているように、【知識・技能】は活用するためのものであり、【思考・判断・表現】の力を使って課題を解決するために必要不可欠なものです。どちらかがより大事というものではなく、【思考・判断・表現】は【知識・技能】によって支えられ、【知識・技能】は【思考・判断・表現】に粘り強く取り組むことではじめて身につくと言えます。日々の授業で、どちらかに偏ることなく、様々な課題に対して粘り強く取り組んでほしいと思います。

また、正答率として平均化してしまうと、生徒それぞれの強みや弱みはわかりません。横浜市の学力・学習状況調査も含めて、一人ひとりに配付する調査結果シートをよく読み、自分自身の課題を確認してほしいと思います。そして、学校は、このような結果を踏まえて各々の授業を再点検し、これからの授業づくりに活かしていきます。


◇国がまとめた全国学力・学習状況調査の結果はこちら

<https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku/report/data/23summary.pdf>

◆社会的な話題について、自分の考えやその理由などを書くことに課題がある。

具体的な設問例 (大問8(2)) ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えと理由を英語で書く。

Today we see many kinds of robots around us. They are helpful. When I went shopping, I saw a robot and it was working as a guide. I could talk to the robot in English or other languages. At some restaurants, robots bring our meals. They can carry many plates at one time. Thanks to them, the restaurant doesn't need a lot of staff members. We have robot pets, too. We can have them even if we are busy with work or we live in small apartments. People will have fun if they live with robot pets. As I explained, robots can change many people's lives for the better. Do you agree with me? Why or why not?



正答率： 20.1%

無解答率： 28.9%

〈正答例〉

- I agree with you. If robots do our housework, we will have more time.
- I don't agree with you because people will lose their job.

〈誤答例〉

- Yes, I do. I think robots is very nice.
- No, I don't. I don't like robots. …27.8%

誤答例の分析と課題

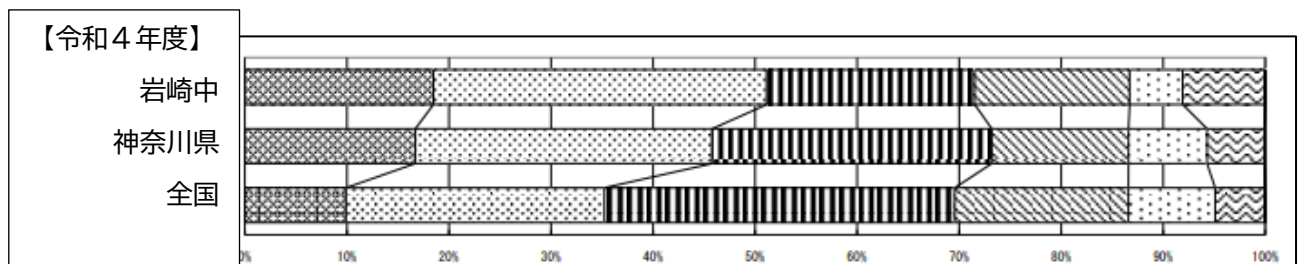
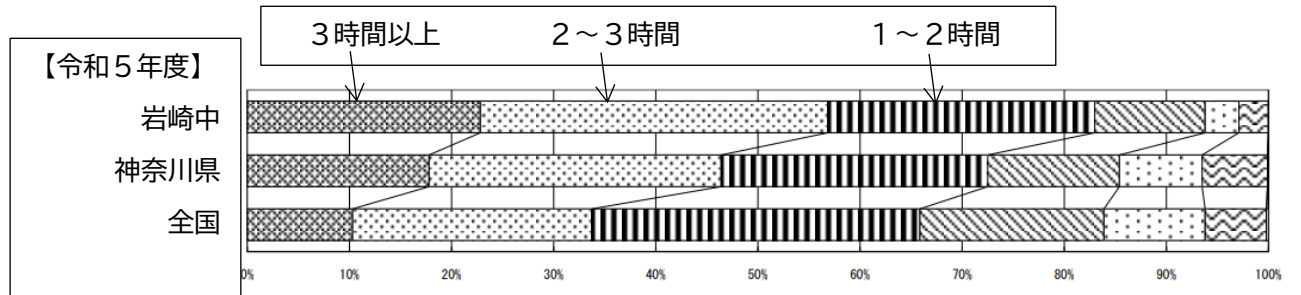
このように解答した生徒は、自分の意見を書く際に、なぜそのように考えたのかという理由を、英文の書き手の意見を踏まえて書くことに課題があると考えられる。どのようなことを書けば理由になるのか理解できていない、あるいは、理由を書くために必要な表現が身に付いていないことが考えられる。

また、自分の考えやその理由を書くことはできているが、文法事項等の誤りがある解答が7.6%である。このような解答をした生徒は、基本的な語や文法事項等を理解して文章を書くことに課題があると考えられる。

また、学校の授業以外での学習習慣として、1日当たりの勉強時間について、「3時間以上」と「2時間以上、3時間より少ない」を足すと55%を超えています。昨年度も全国を大きく上回っており、生徒一人ひとりが、それぞれの目標に向かって努力を積み重ねている姿勢がうかがえます。

『学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか』
 （学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まれます）

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	22.8	34.0	26.1	10.8	3.3	2.9				0.0	0.0
神奈川県（公立）	17.8	28.6	26.1	12.9	8.1	6.4				0.0	0.1
全国（公立）	10.3	23.4	32.1	18.0	9.9	6.0				0.0	0.2

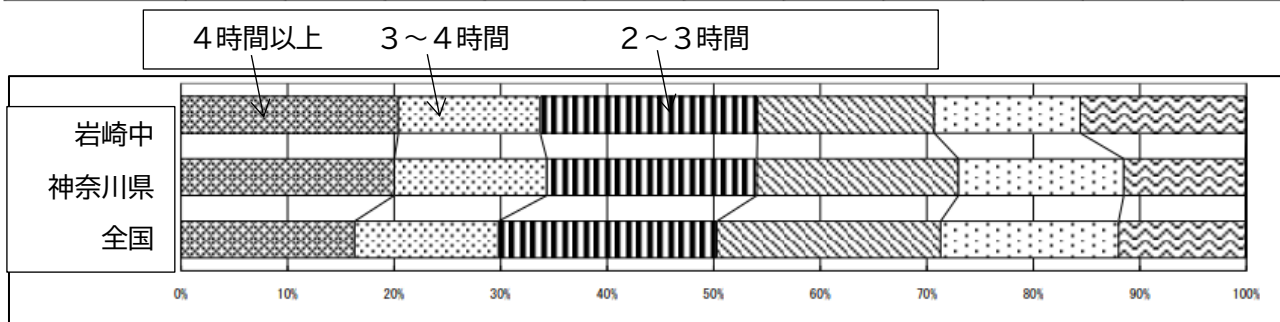


一方で、昨年度のデータでは、1日当たりのゲームや動画視聴の時間について、全国の平均を大きく上回っていました。(本年度は同じ質問なし) 4月に実施したこの調査によれば、本校の3年生のうち約80%が塾や家庭教師、オンラインでの学習を利用している中で、それぞれの生徒が、放課後をどのような時間配分で過ごしているか気になりますが、食事や入浴の時間も含めれば、寝るのは深夜12時過ぎといったところでしょうか。なんとなくスマホに手が伸びてしまう時間を減らすことで、自分の時間を楽しみつつも、「家族の一員として、自分にできることはやる」ことも大事なのではないでしょうか。

さらには、「4時間以上」と答えた生徒がそれぞれ2割を超えていることが気になります。心と体の健康にとって、十分な睡眠は不可欠です。やる気とは、出そうと思ってすぐに出るものではなく、目標を持っていたり、やることが習慣(当たり前)になっていることが前提です。それを邪魔するのが睡眠不足であり、細々としたやる気の炎を吹き消してしまいます。就寝時刻を決めて朝型に切り替えるなど、自分なりに工夫してはどうでしょうか。

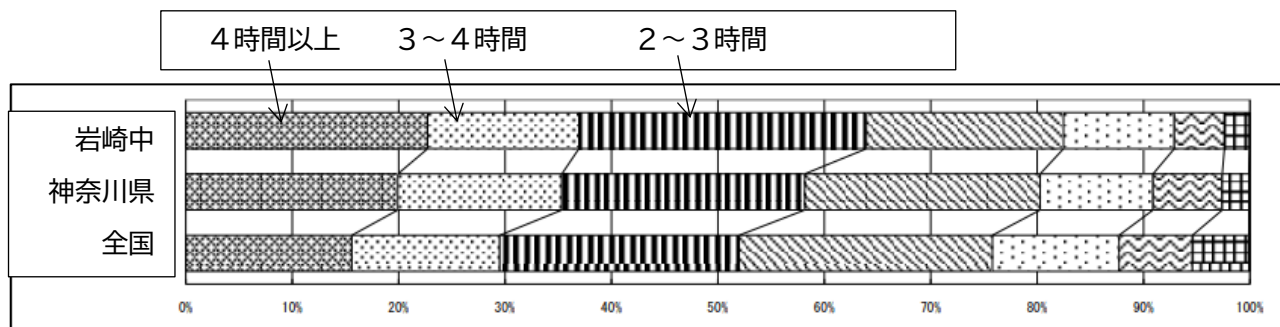
【令和4年度】『1日当たりどれくらい、ゲームをしますか』

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	20.4	13.3	20.4	16.6	13.7	15.6				0.0	0.0
神奈川県(公立)	20.0	14.3	19.7	18.9	15.5	11.4				0.0	0.1
全国(公立)	16.3	13.5	20.5	21.0	16.7	11.9				0.0	0.1



【令和4年度】『1日当たりどれくらい、SNSや動画視聴などをしますか』

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	22.7	14.2	27.0	18.5	10.4	4.7	2.4			0.0	0.0
神奈川県(公立)	19.9	15.4	22.8	22.1	10.6	6.5	2.5			0.0	0.1
全国(公立)	15.6	13.9	22.5	23.8	11.9	6.9	5.3			0.0	0.1



以上